

鶴岡市羽黒町押口の田んぼの真ん中にある「穂波街道 緑のイスキア」。お店の隣の畑で採れた新鮮な野菜を使ったピッツアやパスタなど、本格的なイタリアンがいただけるお店で、東北初の「真のナポリピッツア協会認定店」でもあります。

今回は、店主である庄司祐子さんにお話を伺いました。



〇〇に  
いってきました

広報編集  
委員が  
おじゃまします!

鶴岡市内の話題のお店や法人などに広報編集委員が訪問し、その内容をレポートします。  
今回は「穂波街道 緑のイスキア」にいってきました。

お店に入った瞬間、ピザ釜の前に立つ庄司建人さんと、お客様の接待をされている庄司祐子さんのお二人の笑顔と、お店に広がるピッツアの焼けたいい匂いで迎えてもらいました。

今回は、お店のマダム・祐子さんにお話を聞きました。

\*\*\*\*\*  
(株)ジェイファーム、

その名前には、「Japan Frontier Spirit Farm (挑戦者たれ・先駆者たれ)」という想いが込めてあります。

22年前、農家レストランを先駆けて「穂波街道」という名前でイタリアンレストランをオープンし、11年前、イタリアのイスキア島などでナポリピッツアの修業を重ねた息子の建人さんと共に、「緑のイスキア」としてリニューアルオープンし

ました。



庄司祐子さん

祐子さんにはたくさん顔があります。

「みやぎ・やまがた女性交流機構」、山形県グリーン・ツーリズム協議会」、そして、「(株)ジェイファーム専務」、お店のマダムでもあり、開店前には野菜の仕事に出ます。農業



と農作物がお店の土台をしつかり支えています。

「庄内が大好き」で、北海道でも九州でもない、ここ庄内で、その特徴を生かした農業をこだわってやっていきたいと祐子さんは言います。農業を始めて40年以上の祐子さんが、今もなお、新しい発見と新しい出会いに心はずませていることがとても新鮮でした。



新規就農者や若い農業者などにアドバイスを求めると、「『一緒にやろう』と伝えたい。農業は、一人でやみくもにやっとうまくいく

ほど簡単ではない。学ぶことをおろそかにしては、絶対にうまくいかない。師匠を持つことも大切。教えてもらうことは、決して恥ずかしいことではない。ぜひ、農業士会も頼ってほしい」と答えてくれました。そして、「せっかく夢をもって取り組み始めた就農者に、想い半ばで消えて欲しくない」とも加えました。

彼女の言葉は、たくさんさんの経験を積んできたからこそ、とても厳しく、そして温かいエールでした。



ピッツアを焼くのは息子の建人さん

# 農地に関する Q&A

**Q.** 親が亡くなり農地を相続することになりました。農業委員会への手続きは必要ですか？

**A.** 遺産相続により農地を取得する場合は、農地の売買等とは異なり農地法の許可は必要ありませんが、農業委員会への届出が必要です。その権利取得を知った日からおおむね10か月以内に農業委員会へ届け出てください。

**Q.** 家庭菜園のために100㎡ほどの畑を購入したいのですが、可能ですか？

**A.** 農地を購入するには、農地法の許可が必要となります。許可を得るためには要件があり、農地取得後の経営面積が一定の面積に達しなければ許可されません。この下限面積は市町村ごとに異なりますが、100㎡以下に設定している市町村は少ないと考えられます。さらに農地法では、農地の効率的な利用の促進や、農業上の利用の確保のための措置を講ずることを目的としており、そこに家庭菜園はあてはまらなると解釈されるため、家庭菜園を目的とした農地の購入は難しいと考えられます。

祐子さんは、人と人、想いと想いの小さなつながりをつくり、それをつなげていくことが得意であると感じています。祐子さんに会おうと、何か動き出すかもしれません。  
\*\*\*\*\*  
(株)ジェイファームのフロンティア精神で、また新たな試みも計画しているとのことですので、近々発表もあるかもしれません。

次回は…  
**「知憩軒」さんに行ってきます!**  
「独特のセンスがその名のとおりきらっと光る。食事も空間も落ち着き和食のお店です」(祐子さん)

**祐子さんのご紹介**

来ませんので、そちらもぜひお楽しみに！  
(重松美鈴委員)



## 全国農業担い手サミット inやまがた

11月8日・9日、第21回全国農業担い手サミットinやまがた」が皇太子殿下をお迎えして盛大に開催され、全国からおよそ2千人が山形県を訪れました。本サミットの記念すべき第1回目は酒田市内で開催され、今回が山形県で2回目の開催となります。本県の農業が全国において重要な役割を担っているように感じることができま

1日目は、山形ビックウイングで全体会が行われ、皇太子殿下よりお言葉をいただきました。全国優良経営体表彰等の表彰式の後、県内8会場へ移動し地域交流会が行われました。グラントエル・サ

ンで開催された鶴岡・田川地域交流会には、280人ほどが参加し、来県された方との交流を図りました。2日目は県内8地域、計32コースに分かれ現地研修会が行われました。鶴岡・田川地域では4コース設定され、県外参加者が農業法人や産直施設を視察し食文化などを学びました。平成最後の年に山形県で開催され、新しい年号の次回は静岡県での開催となります。全国の農業担い手が一堂に会する良い機会です。静岡県でお会いしましょう。  
(小林真推進委員)